

えくてびあん

9

立川と語る 立川に生きよう

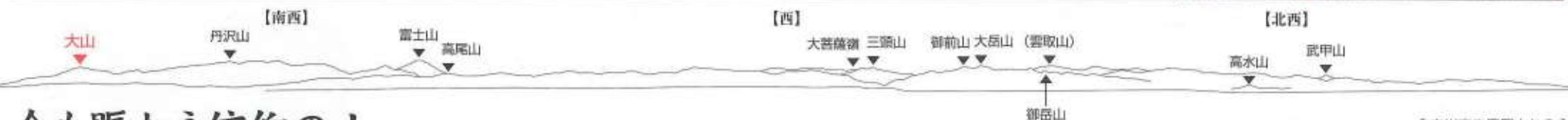
STAFF MESSAGE

立川FESTIVAL 20 No.206



表紙の人／豊泉喜一（柏町）

撮影／細江英公



今も賑わう信仰の山

〔立川高島屋屋上から〕

丹沢山塊の南東端に三角形の山容を屹立しているのが大山である。^{おおやま}大岳山と同様よく目に付くので方角の指針にされ、古くから雨乞いの山として知られる。江戸時代には約4000もの大山講が江戸市中や関東の村々に結成され、大勢の人が参拝した。

参拝する人の通る道が各地に出来、大山道と呼ばれた。砂川市区にこの大山道があり、大山小学校や大山団地の名称はそれに由来する。砂川三番の交差点近くには当時の石の道標が残っている。参拝は旧暦6月下旬からお盆までの20日間に限っていたから、その間は大変な混雑だったようだ。古典落語の「大山詣り」はこの様子を今に伝える。

やっと秋風が吹き始めた頃登った。豆腐を名物にした店が軒を連ねる門前町を抜け、ケーブルで阿夫利神社下社まで行き社殿の横から続く古い石畳や石段の道を登る。所々に急坂があり一汗も二汗もかかされる。山頂には立派な社殿があり往時の大山詣での盛んな様子が伺われた。この日は雨乞い山にふさわしく時々霧に見舞われたが、晴れば展望は抜群で相模湾から関東一円が望まれる。

下りは東側の尾根を回り見晴台経由で下社に。そこからケーブルを使わずに男坂を下った。油断しているとずり落ちそうな狭くて急な石段が続く坂である。往時はかなり怪我人も出たらしい。前述の落語の落ちは、だまされて丸坊主にされた人に「おげがなくてよかった」というものであるが、男坂を下ってみると納得出来る。

【編集部よりお詫びと訂正】読者の方より7月号「雲取山」の位置が違うとご指摘いただきました。ご指摘通り、編集部のミスで同号掲載の右上写真が間違っていました。実際の雲取山の位置は矢印のある写真中央でなく写真右側奥のややなだらかなピークです。

〔行程〕

JR立川駅＝南武線登戸駅経由・小田急線伊勢原駅＝神奈川中央交通バス＝大山ケーブル駅＝15分＝遠分駅＝ケーブル＝下社駅・阿夫利神社下社＝50分＝ヤビツ峠分岐＝15分＝大山山頂・阿夫利神社＝50分＝見晴台＝20分＝下社駅（往路を戻る）歩程約2時間30分。

<別コース>車で宮が養ダム・札掛経由でヤビツ峠まで行き、そこから山頂往復が時間的に短い。歩程約1時間40分。

いつも登山者で賑わう古い信仰の山。急な石段が往時の参拝の苦勞をしのげさせる。



私と大山

誘われると出かけるという山登りを続けています。大山は山を始めたごく初期から3度登りましたが、急な下りに泣いたり、雨でぬかるみを歩いたり。高さの割に険しくその分達成感もある山です。

加賀晴子さん（富士見町）





人間の骨格は五歳までに形成されるんです。

「すくすくワールド」主宰 石井 篤子さん

啓介 「すくすくワールド」というのは5歳までの児にバイリンガルになれる素地を植えつける、ということですがそんな幼さな児に出来るんですか。

石井 ニヶ国語を教えるというよりも、育っていく中で自然に「英語のある生活」に入っていくということなんです。

啓介 石井さんは幼児教育が専門なんですか、それとも語学。

石井 私は西国立にありますが東京女子体

育大学で幼児教育を勉強したんです。あの大学は「リトミック」というものを日本で一番先に取り入れたところなんです。リトミックというのは、音楽のリズムを体で表現して体の柔軟性とか機敏性を養おうとするものなんです。

啓介 それじゃ「新体操」の原型みたいなものじゃないですか。

石井 そうですね、つながっていると思います。そのくせ、私って体操とか競走



■石井篤子(いしいあつこ) / 立川・砂川町在住。秋田県生まれ。1971年に上京、東京女子体育大学幼児教育科に入学。発達心理学やリトミックを学ぶ。自宅でピアノ教室を開き、ピアノとリトミックを教える。1986年、専門学校で心理学およびリトミックの講師として教鞭をとりながら独自のリトミック理論で「すくすくリズムック」を考案。各地のカルチャーセンターで幼児を対象に指導をする。1990年、立川市紫雲町にて幼児教室を主宰。1999年、ご主人と英会話スクールを開設。2001年、麹町にバイリンガルプレスクール「すくすくワールド」を開校。
■立井啓介(たていけいすけ) / 本誌編集人。

・アンド・ペティー」でしたけど。

石井 そういう風に入っていくと頭では解っても、体でおぼえていないんです。言葉って、日常語であれば、そう「特別」なものじゃないんです。お母さんがよく「英語を教えてくださいませんか」って訊いてくるんです。私、お答えするのに「英語のある環境に育ってもらわなくては。教えるのではありません」って。

啓介 英語のある環境ねえ。たしかにAがわかっていても「ハロー」って声かけられたら、どうにもならない。でも、父親が商社の人でアメリカとかイギリスに何年かいても、日本に戻って来るとカラキシ使えなくなる人もいます。

石井 それでも「下地」は残ると思うんです。

啓介 そういえばアメリカへ行った首相とか外務大臣なんか、どことなく板についてるところがありましたね。昔とったキネツカとはいえ、それから込み入った政治談なんかは無理としても、もの腰が今までの政治家とはちがうものがあるんじゃないね。やはり青春時代に血となったものが自然態で出てくるんでしょうか。

石井 私のところは砂川に「バスポート・イングリッシュ・アカデミー」という教室も持ってるんです。5歳からおとなの人までが対象なんです。継続してもらえる、もっと効果的かと思えますね。

啓介 そこまでいくと、ネイティブに近くなりますか。

石井 なります。日本語の骨格が出来あがってしまっただけではなかなか、むずかしいですね。

啓介 私、フランスにしばらく住んでいたんですが、日本人にとって一番むずかしい発音って何だと思いますか。

石井 LとRの区別ですか。

啓介 それもありですね。一番むずかしいのはUなんです。一音だけ出せると云われれば理屈は知ってるんですけど、実際に出来るんですけど、会話の中に出てくると、急に日本語の「ユ」に戻ってしまう。唇の筋肉の使い方が違うんです。さっきの「ハロー」ではありませんが、流れの中ではどうしても日本語から抜け出せないんです。

石井 それ、よく解ります。

啓介 言葉も大事ですけど、人間の身

は不得意なんですけど(笑)。
啓介 5歳までに、というのはユニークな発想ですね。

石井 一生の中で一番大切なのは乳児期から幼児期にかけてなんです。言葉をしやべれない子が、しゃべれるようになる。歩けない子が歩けるようになる。ハサミを使えない子が使えるようになる。人間として一通りのことが出来るようになるのが5歳くらいなんです。ならば、その間になるべくいい環境を与えてあげよう。子どもがこれから発達していく年の時に体を機敏に動かすとか、瞬発力や判断力をどう発達させるかとか。

啓介 ああ、それで「すくすくワールド」の中は遊び場のふん開きがあるんですね。

石井 屋上にはプールも砂場もありますし。

啓介 それで、英語はどうするんですか。

石井 語学を子どもの発達と別に考えずに自然に身につけてくれたらと願ってやっています。これからは「国際化」が今よりもずっと進んでいきますから。人間の基礎を軸にして、語学、アート、音楽をとり入れていこう。

啓介 理想は理想として、現実に子どもたちは伸びていってませんか。

石井 毎日、子どもの潜在能力がどんどん出てくるのがわかりますね。

啓介 今のお話だと、既存の「保育園」とあまり変わらない。

石井 一般に保育園では子どもが多くて一人一人の能力を見てあげられないケースが多いんです。うちでは15人を定員としまして、先生が3名から4名ですね。志を同じくしている人たちに受け持ってもらっています。英語も幼児教育をやってきた人が加わっていますし、ネイティブの方ももちろんおられます。

石井 自分で想像する、イマジネーションの力が知らずについているんだと思います。今はゲームやインターネットばかりいじって素朴なことを忘れていくという気がしますね。でも、やっぱり言葉は大切で、うちでは自分の言葉で自分の意見が云えるようになって、考えているんです。

啓介 そう云えば、言葉の豊富さというのは5歳までに決まってしまうって聞いたこと、あります。学校よりも「お母さん」なんです。言葉の金庫は。

石井 やっぱ5歳までって考えた方がいいでしょうね。ところが、その年頃の子どもを持つ親というのは受験戦争のまっただ中をくぐってきていますから「偏差値」一辺倒で育ってきて、そこから抜け出せないですね。わが子にも、どうしても「いい点数をとってもらわなくては」

となるんです。本当は遊びの中にも育つ

ていく要素がたくさんあるのに。

啓介 これだけ情報があふれていると、どうしても「直線的」になって、上へ上へと這い上がるように仕組まれているところがあるでしょう。

石井 そういう傾向、強いです。6ヶ月でハイハイしないといけないとか、1年で歩けるようにならないと「うちの子は遅れてるんじゃないだろうか」とか考えがちなんです。人間ってそれぞれ個性がありますから、早い子も遅い子もいる。一人一人の個性を伸ばしていくところというところに立たないと、本当に「育てる」というところに行けないと思うんです。

啓介 そこが「情報」の恐ろしいところだなに規準がないと、心配でならない。そう仕組まれているんですね。現代は。隣の芝生はいつも青い。

石井 隣ののお子さんたちがわかっていてもいいんですよ。よく云うんですけど、現実となると、比較して浮足だつてしまっている。

啓介 大人も似たりよったりです。段々耳の痛い話になってきた。

富士銀行立川支店	曙町2-4-5 524-3121
お菓子の家 エミリーフロアゲ	曙町2-5-1-1F 527-1138
カフェ クリムト	曙町2-5-1-2F 526-3030
三井住友銀行立川支店	曙町2-6-11 522-2151
Italian Cuisine サヴィニ	曙町2-7-10 525-1662
Art & Caffe Room 新紀元	曙町2-7-21-4F 526-6952
多摩中央信用金庫本店	曙町2-8-28 526-1111
三上 鯉 節 店	曙町2-8-30 522-3259
旬彩懐石 若草茶屋	曙町2-9-30 526-0010
フロム中武 1F受付	曙町2-11-2-1F 524-7111
輸入文具 ホワイトハウス	曙町2-11-2-4F 525-8558
ステンドグラス ばさーじゅ	曙町2-11-2-4F 522-1941
スパゲティー専門店 はしや	曙町2-11-2-4F 528-2338
立川リージェントホテル	曙町2-11-7-2F 522-1133
ビックカメラ 立川店	曙町2-12-2 548-1111
Wine & Dining るもん	曙町2-12-13 527-3022
ケンタッキーフライドチキン立川店	曙町2-12-16 528-2836
三井住友銀行立川支店	曙町2-13-1 522-6171
東京三菱銀行立川支店	曙町2-13-3 5244121
カフェ アバン	曙町2-17-15-2F 527-4479

えくてびあんの輪

人があて、街があります。
あなたがあて、立川があります。
そこにちょっとだけ、えくてびあん!
リストのお店にはいつでも、えくてびあん!

今月は曙町・高松町のお店です。

トポス立川店	曙町2-18-18 525-0331
三井石油 フロントピア立川	曙町2-19-9 527-3943
深流魚菜料理 一竿	曙町2-22-23-B1 527-3640
手打ちそば 閑	曙町2-25-3 525-1400
串やきと牛たんの店 JEAN	曙町2-32-14 529-6210
三田花店 立川高島屋店	曙町2-39-3-1F 526-4187
立川高島屋 サービスフロア	曙町2-39-3-7F 525-2111
オリオン書房 ノルテ店	曙町2-92-43-3F 522-1231
和菓子舗 花奴万葉庵 工場売店	高松町1-22-8 0120-398785
多摩画材 (原品交換所)	高松町2-1-25 522-6031
丸助青果店	高松町2-4-18 522-3542
スーパー やなぎや	高松町2-5-17 522-4322
肉の専門店 伊勢屋	高松町2-6-20 524-2734
ケーキ&カフェ マリアン	高松町2-10-22 524-3912
米穀・食料品 横町屋	高松町2-11-23 522-2609
山梨中央銀行立川支店	高松町2-16-13 526-1571
レストラン 榎	高松町2-22-2 526-2276
cafe-restaurant & bar TIP-TOP	高松町2-27-27 525-2030
書籍・雑誌 フレンド書房	高松町3-18-2 527-1555
活魚割烹 きよみず	高松町3-19-2 526-3885



啓介 じゃ、先生たちは皆んな子どもを育てるプロなんだ。英語は話せばいいってもんじゃない。

石井 ところが親御さんは、どうしても「英語」が目なんですね。自然に「出来るようになる」んです。1歳でも2歳でも英語の先生が訊いたことに対しては英語で答えていますからね。日本語でも、例えばお母さんが「このジュースおいしい?」って訊けば「おいしい」って答えるように、英語に対しては英語で答えるのが普通になってくるんです。

啓介 この教室を開いて、どのくらいになるんですか。

石井 まだ3ヶ月なんですけど、いろいろな面で子どもたちは反応を見せてますね。会員が今、50名くらい。

啓介 そういえば、私の英語なんかまるっきり逆で、試験に出るから仕方なしに単語をおぼえて、ややこしい文法なんか丸暗記して。最初の教科書は「ジャック

ていく要素がたくさんあるのに。

啓介 これだけ情報があふれていると、どうしても「直線的」になって、上へ上へと這い上がるように仕組まれているところがあるでしょう。

石井 そういう傾向、強いです。6ヶ月でハイハイしないといけないとか、1年で歩けるようにならないと「うちの子は遅れてるんじゃないだろうか」とか考えがちなんです。人間ってそれぞれ個性がありますから、早い子も遅い子もいる。一人一人の個性を伸ばしていくところというところに立たないと、本当に「育てる」というところに行けないと思うんです。

啓介 そこが「情報」の恐ろしいところだなに規準がないと、心配でならない。そう仕組まれているんですね。現代は。隣の芝生はいつも青い。

石井 隣ののお子さんたちがわかっていてもいいんですよ。よく云うんですけど、現実となると、比較して浮足だつてしまっている。

啓介 大人も似たりよったりです。段々耳の痛い話になってきた。

日本女性初の チーズ熟成士誕生

ワインの普及とともに、チーズの愛好者が増えているが、まだまだ、チーズといえばプロセスチーズを指すと思われる旨が強い。カマンベールだけではない、フランスを中心とする本場には“生”のチーズが何百種もある。その一つ一つを丹念に学び続け、この度、フランス国から“チーズ熟成士”（ギルド・デ・フロマージュ）として認められた久田早苗さん（栄町）。この4月に開店した『チーズ王国』の熟成室を訪れると、そこには幾種類ものチーズを“育てる”早苗さんの姿があった。

フランスから贈られた熟成士のディプロマ。



歓びのうちに花束を受ける早苗さん。



久田寿男氏 社会文化功労賞受賞
久田早苗氏 チーズ熟成士取得 記念祝賀会



7月9日、パレスホテル立川で開かれた祝賀会では、百名以上の関係者がお祝いに駆けつけ、フランスのチーズ専門家の祝辞も。



久田ご夫妻の経営する『チーズ王国』は十指に余るチェーン店をもつが、本拠地は立川・栄町の本店。この4月に本腰をいれた建築でヨーロッパ各国の本場チーズの普及につとめている。



会場ではチーズ料理の珍品も試食された。



当日、夫君の久田寿男さんも「社会文化功労賞」を。同氏はチーズ鑑評士、世界各国との親交を深めた長年の活動に対して功労賞に輝いた。



生粋の砂川人。砂川に生まれ、砂川に育った。郷土にたいする愛惜の念は、ひと一倍強く、また郷土研究者としてよく人に知られるところ。
 「古文書研究会」の会長を永くつとめ鈴木平九郎の「公私日記」などの研究にたずさわり、後進の指導にも余念がない。
 一方では政治行政の手腕をかわれ、立川市議を5期にわたってつとめ、地域活性の功労者でもある。
 「今は自分の時間が欲しくて…」とその心境をもらした。
 (於・古民家園／撮影・細江英公)

東風

立秋は8月7日。とうに過ぎているのに暑さが衰えようとしな。加えて、東京都は渇水状態が続いて企業や家庭を悩ませている。「夏にはよくある事」の今年だが、朝夕には「秋はさやかに見えねども」の気配を感じることもある。天然の理は絶え間なく働いているのだと思うのは、この季節でもある◆「えくてびあんトークサロン」として昨年は谷川俊太郎の自作詩の朗読に、会場は熱い空気に包まれた。今年ほどあなたがこのサロンに来てくださるのだろうか胸をふくらませていたら、かつての大スター・池部良さんが来立川にご快諾をくださった。「過去の人」かと思われる方もいるかも知れないが、最近ではエッセイストとしてその文名を高めている◆十年前に書かれた「そよ風ときにはつむじ風」は毎日新聞から刊行され、日本文芸振興会文芸大賞に輝き、新潮文庫にも入っているから、簡単に手に入る。父と子がテーマになっているのだが、理論理屈ではない、時代背景を匂わせながら「おやじ」の物語を進める池部良さんの眼は優しい。優しさに富んだ眼差しの本が十指にあまるほどあること、立川人にはあまり知られていないのではなからうか。秋の愉しみがひとつ増えた◆えくてびあん同じ辞書もち 今朝の秋

【第三次えくてびあん同人】
 編集 大久保清志 / 小林康史 / 杉山清純 / 芳賀敏博 / 山田五郎
 デザイン 池田隆男 / AMNET DF
 写真 中村伸 / 五葉季平

えくてびあん 9月号
 第19巻 通巻206号
 平成13年9月1日発行
 発行 えくてびあん編集工房
 〒190-0012
 東京都立川市曙町2-17-5 杉田ビル3F
 TEL.042-528-0082 FAX.042-528-0065
 編集人 立井啓介
 発行人 瀬尾勲三
 印刷 (株)大廣社

最新転載を禁じます。

えくてびあん トークサロン

立川はこの秋、あの池部良を迎えます。



■池部良 (いけべりょう) 氏
 映画「青い山脈」「暁の脱走」「雪国」「暗夜行路」など200本に主演。エッセーに「そよ風ときにはつむじ風」(日本文芸振興会文芸大賞)「風が吹いたら」「心残りは」など多数。

昨年に引き続き、今秋も「トークサロン」を開きます。今回は一時代を画した俳優の池部良さんです。聴きましょう、人生の蘊蓄を!

池部良 講演「父の遺言」

2001年10月19日(金)

開場 17:30 開演 18:00

立川市女性総合センター「アイム」ホール

主催/えくてびあん編集工房 多摩てびこネット

- 196席、全席ご招待です。ご希望の方は往復ハガキに住所、氏名、年齢、電話番号、同行者名(3名まで)を明記の上、下記までお申し込みください。
- 席に限りがございますので、応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。
- 申し込み先 〒190-0012 立川市曙町2-17-5 杉田ビル3F えくてびあん編集工房 宛
- 問い合わせ えくてびあん編集工房トークサロン係 TEL.042-523-9898
- 締切日 2001年10月3日(水)消印有効



中華レストラン 東華園

●富士見町1-27-10 ●529-0458
 ●11:00~21:00
 ●火曜日定休 ●Pなし

横浜中華街の味を立川に
 目指すは地域に根差した
 中華料理店



エビ焼餃子(写真右) 500円
 杏仁豆腐(写真左) 200円
 上海焼ソバ 800円
 レバの唐辛子炒め 500円



江戸街道沿い、都立短大のはす向かいに美味しいと評判の中華レストランがある。元々は、乙訓信雄さん、カズ子さん夫妻が昭島で営業していたお店を平成11年に移転したもので、オープンと同時に息子の貴雄さんが加わった。

貴雄さんは、20歳の頃から、中華料理の道に入り、横浜中華街で修行。その成果はラーメン、餃子といった定番メニューの他、種々の小皿料理に如実に表れており、中華街仕込みの絶妙かつ上品な味を気取らず堪能することができる。特に、砂肝やレバーといった臓物に手間かけることによって、その臭みを取り、旨みを引き出す腕は秀逸で、この小皿料理を食べに毎日通ってくる人もあるという。デザートは杏仁豆腐に至っては滑らかで喉ごしも爽やか。食事の最後にしてやられたという気持ちにさせられる。流石は、本場は中国人シェフ直伝の技だ。

中華街では奥まった厨房で料理を作っていた。今は自分の作った料理を食す人の顔をカウンター越しに見ることができる。貴雄さんの意欲は益々旺盛に。地域の人たちに手頃な値段で一ランク上の味を提供する東華園は、力強い後継者を得て、ますます盛況。

真味百撰 53

ゴロさんの独断毒語

26 歩荷

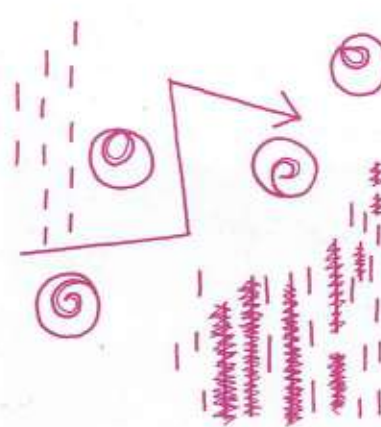
山は八ヶ岳だけではありません。たしかに私は学生時代に北八ヶ岳のソフィアヒュッテに惚れ、よく通い天狗岳にもよく登りましたし、特に雪の黒百合平から天狗岳のアタックは忘れ難い思い出です。ですが、他にも東北の山々、懐の深い飯豊山は印象的でしたし、飛騨山脈、つまり北アルプスには魅了されました。立山、剣岳から穂高までの縦走合宿は晴天に恵まれ、三千メートルを超える峰々を闊歩する喜びはまた、格別でした。

穂高から酒沢を下って上高地に着く、そこで合宿は解かれ、山仲間それぞれにバスに乗って松本へ出るか、鳥々をまわって松本へ出るかして中央本線で新宿へ。私もバスに乗ろうと思って切符売場に並んでポケットの財布を弄ったが、肝心の財布がない。無くしたかな、と一瞬は思いましたが、ハタと気がつきました。はじめから持ってこなかったのです。

私の山行はいつもルーズで、行けば何とかなるだろうという正に「行き当りばったり」でした、行けば何とかなるだろう。ところが、その時には仲間の財布もぎりぎり二進も三進も行かない。

二人はお互いの身上に同情して、梓川のほとりにテントを張って、張ったからといってどうなるものでもありませんが、とにかく長逗留を覚悟しました。すると、松島がどこから聞き込んできたのか、——ゴロさん、歩荷しませんか。

そこへ一人の仲間が近づいてきて、——ゴロさんですか。オレもなんですよ。と云う。今は作家として活躍している松島駿二郎でした。——いっせ、しばらく上高地にチンポツしちやいましょう。



と云う。ポッカというのは山小屋での食糧や必需品を担いで登る重労働です。上高地から酒沢小屋まで一貫につき百十円という条件でした。当時の学生アルバイトとしては悪くない値段です。——十貫目まで運んで一日、千円か、悪くないねえ、それやろう。

十貫目を背負うというのは、若者にとってそんなに酷なことではない。短い距離ならば、まあまあ運べるのですが、上高地と酒沢小屋間は長いのです。日の出に発して上高地のテントに戻ると、もう陽が落ちて真暗です。松島と私は遅い夕飯を準備しながら、夢を語り合いました。——このまま続ければ交通費どころか、シモンのピッケルも買えちゃうね。

ピッケルは登山者の憧れで、二人ともまだ持っていないでした。

さて、私たちは数日のポッカを了えて大枚を手にして上高地をあとにしました。すっかりお世話になりましたと、上高地に最敬礼をした。気分が浮いたためでしょう、二人は松本へ出て思い切り飲み食いし、財布の中には新宿までの車賃しか残っていない。ピッケルは幻となって消え去りました。(やまだこうろう・詩人)

望梅止渴

のどの渇きを他で紛らわせて一時的に堪えること。魏の曹操が戦いの中、給水の道を失った。部下がのどの渇きを訴えた時、「前方に大きな梅林がある。すっぱい梅の実を心に思い浮かべよ」と云って兵士たちを励ましたという故事による。



「常楽我浄」(わがこころを清く)放送時間
 スカイパーフェクトTV 216ch、マイテレビ 84ch

土 曜 午前9時~9時15分
 午後7時15分~7時30分
 再放送/火曜 午前9時~9時15分
 午後7時45分~8時
 放送時間は予告なく変更する場合がございます。

立川に育てられて六十五年
真如苑
 柴崎町1-2-13 Tel.527-0111(代)

I SUPPORT YOUR DREAM
 あなたの夢に真実的

 あさひ銀行

デジタルえほん

メモリーブックにどうぞ...

ミッキーやキティちゃんと一緒に...!!
 あなたの写真と名前が絵本の中に入ります。

PLANNING・DESIGN・PROCESS・PRINTING
大廣社 042-527-1911
 〒190-0022 東京都立川市錦町5-17-13
 FAX.527-1949
 E-mail JD105215@nifty.ne.jp

いつも、旅

型染版画家・田中清の世界 ②



「但馬」

但馬は私の故郷です。都会とちがって、但馬の人は顔を見ながら話を聞いてくれる。そして中国山脈の山なみがつ訪れても温かく迎えてくれるのが嬉しい。近くに円山川が流れていました。私は山と川の間で育ちました。これは今日の作品に大きな影響を与えてくれています。但馬は出雲と京都の間にあつて、教育レベルの高いところも、但馬人の誇りなのです。



多摩の新景より
「拜島大師付近」